

行動科学・実装科学セミナー

令和4年第10回実装科学セミナー

国立長寿医療研究センター研究所

老年学・社会科学研究所センター センター長

演者： 島田裕之先生

**演題：高齢者の健康行動促進のための技術
と仕組み作り**

日時 令和5年3月10日(金) 16:00 ~ 17:00

開催方法 Web会議システム (Zoomミーティング)

参加申込 <https://forms.office.com/r/88M2wAaFcF>

参加申込メ切 令和5年3月10日(金) 17:00
(セミナー終了まで)



講師プロフィール：

平成15年北里大学大学院博士課程を修了。東京都老人総合研究所研究員を経て、現在は国立長寿医療研究センターに所属。信州大学医学部、同志社大学の客員教授を併任。専門領域はリハビリテーション医学、老年学。高齢者の健康増進に関する研究を行っている。

セミナー要旨：

健康寿命の延伸のためには薬物療法とともに、食事、運動、睡眠などの健康行動の促進が不可欠でありデジタル機器を活用した効果的、効率的なアプローチが必要とされている。今回は認知症予防の取り組みについて概観するとともに、スマートフォンを用いた予防活動の実践を紹介する。

主催：国立がん研究センターがん対策研究所 支持・サバイバーシップ研究グループ
N-EQUITY (健康格差是正のための実装科学ナショナルセンターコンソーシアム)

共催：RADISH (D&I科学研究会)、J-SUPPORT (日本がん支持療法研究グループ)
早稲田大学人間科学学術院

問い合わせ：国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部
実装科学研究室 島津・齋藤 impsci-sem@ml.res.ncc.go.jp